

議員活動の近況と主な実績を紹介します！



このほど、東旭川地区を流れる桜川沿いに生い茂っていた雑木を伐採した。住民からの相談を受け、関係機関に改善を働き掛けた公明党の吉井透道議と中野寛幸市議が、現地を視察した【写真】。

この場所は、これまで川面が見えないほど雑木に覆われていた。そのため隣接する田んぼの日照を遮りイネの生育に影響を及ぼしていたほか、虫の発生にも住民が悩まされていた。（4月23日公明新聞の記事から抜粋）
「道議・市議の連携による実績です。」



桜川の河川整備を実施する前の状況
（大きな木の左側がダムのかげ）



伐木等の河川整備が完了した状況
（東桜岡第1貯水池（ダム）から約300m）

町内会及び党员さんからも「公園の整備」について要望を受けておりました。東光2条2丁目の「東光のぞみ公園」に設置されている「トイレの照明」が以前からつかない状態が続いていましたが・・・

昨年の秋、照明器具を新しく付け替えさせていただきました。（ホームページに掲載）



修繕前の状況



トイレ照明が新しくなりました。

議会質問・質疑からの実績を紹介します！

医療費（保険給付費）の抑制のため、平成 29 年度から新たな取り組みとして・・・

①特定健診未受診者全員に勸奨ハガキを送付します。

②コールセンターに委託し電話による勸奨などを実施します。

旭川市国民健康保険事業特別会計の歳出は約 460 億 6 千 700 万円。（平成 27 年度決算）人口減少と共に、国保加入者数も減少しているにもかかわらず、前年度との比較では、医療費となる「保険給付費」は約 5 億円の増加となっています。

このような状況を踏まえて、疾病予防や普段からの健康管理などの取り組みが重要となっております。

（右は旭川市資料）

「特定健康診査等事業費」 予算額：199,858 千円（前年度比 41,641 千円の増）

H29			
区分	予算	予定	内容
継続	158,847 千円	32%	第2期特定健康診査等実施計画のH29目標値32%とする
継続	90 千円	25カ所	特定健診とがん検診をセットで受診市内25地区で実施
拡充	3,726 千円	49,000 人	未受診者全員にはがきを送付
拡充	211 千円	2種類1,100 枚	2種類作成し掲示場所を拡大する
新規	5,128 千円	5,000 人	コールセンターに外部委託で実施
新規	220 千円	11,000 枚	特定健診・がん検診の啓発リーフレット作成
新規	予算なし	5回（予定）	旭川がん検診センターで実施の日曜検診を新たに周知し受診率向上を図る

「疾病予防費」 予算額：28,312 千円（前年度比 7,989 千円の増）

H29			
区分	予算	予定	内容
新規	416 千円	3,200 人	特定健診未受診者を対象に未受診の理由や生活習慣等について調査する
新規	予算なし	2回（予定）	糖尿病、慢性腎臓病等をテーマにイオンホールで医師による講演会を実施する
新規	16 千円	3回（予定）	慢性腎臓病重症化予防プログラムの策定のため、医療機関、腎臓専門医などと協議会を開催する
新規	630 千円	8,640 回	慢性腎臓病重症化予防対象者への通知等
新規	624 千円	12 回	外部講師を招いて慢性腎臓病事例検討や保健指導研修を行う
新規	6,548 千円	栄養士1名 保健師2名	栄養士（嘱託）、保健師（臨時）の増員ための人件費

国民健康保険事業の一環として行われている「特定健康診査及び疾病予防」などの取り組みについて、これまでの議会質疑で何度も取り上げてきました。昨年 9 月の決算審査特別委員会での質疑内容が新聞記事として掲載されていました。

（北海道新聞（9/30）の記事抜粋）

また、市は、国民健康保険加入者の特定検診受診率が昨年度は 22・5%（速報値）と、08 年度に比べ、2 割以上がなかったと報告。医療費抑制策の一環と

して、受診率を上げるため、来年度から、現在は一部の市民にのみ実施しているはがきによる受診勧奨の対象を拡大するほか、電話による勧奨も行う考えを示した。中野寛幸氏（公明党）への答弁。（松井伊勢生、久保田昌子）

